

神農も 伊吹山には 仰天し

結
網

～牧野富太郎と伊吹山近代植物学～

29歳頃の牧野富太郎
高知県立牧野植物園所蔵

2019

4. 27 (土) → 6. 9 (日)

開館時間 / 9:00～17:00 (入館は16:30まで)

休館日 / 月曜日・祝日の翌日

※4/27～5/6は開館、5/7休館

入館料 / 一般200円、小中学生100円

ギャラリートーク

- 講師 当館学芸員 高橋 順之
- 日時 5月1日 (水) 13:30、14:30
- 場所 資料館2階 企画展示室
- 入館料が必要です

米原市伊吹山文化資料館

Mt.Ibuki Museum

〒521-0314 滋賀県米原市春照77 Tel/Fax0749-58-0252 <http://www.zb.ztv.ne.jp/mt.ibuki-m/>

神農も伊吹山には仰天し

～牧野富太郎と伊吹山近代植物学～



伊吹山植物講習会写真（中央丸印が牧野富太郎）

伊吹山の登山口・米原市上野区の旧家から、「坂田郡教育會主催伊吹植物講習會記念写真」というタイトルがつけられた1点の集合写真が見つかりました。明治39（1906）年8月10日、場所は春照小学校（米原市杉澤）。写真には前後7段にわたって、約130人が写っています。この写真には、鮮明ではないものの、中央に黒のスーツと蝶ネクタイを愛着した牧野富太郎が写っていました。

土佐国高岡郡佐川村（現高知県佐川町）の造り酒屋の一人息子として生まれた牧野富太郎が、伊吹山に初めて足跡をのししたのは、明治14（1881）年19歳のときです。上京の帰りに、ひとり伊吹山に登ったのが、本格的な植物採集のはじまりです。

昭和6年（1931）には、伊吹山の定宿・対山館で「神農も 伊吹山には 仰天し」という句を詠み、民衆に薬草の知識を広めた古代中国の医薬の神「神農」ですら、伊吹山の植物の豊富さに驚くだろうと表現しています。

本企画展では、日本の植物分類学の創始者・牧野富太郎の伊吹山での足跡と、伊吹山の近代植物研究へ与えた影響、関連する人物について紹介します。



堀與曾市氏（米原市上野）採集標本



高橋七蔵氏（米原市上野）と牧野博士

●主な展示内容

1. 伊吹山と江戸時代の本草学
2. 牧野富太郎の伊吹山登山
3. 坂田郡教育会「伊吹山植物講習会」
4. 「近江の牧野富太郎」橋本忠太郎
5. 伊吹山麓の群像

米原市伊吹山文化資料館

Mt. Ibuki-Museum

●体験教室（要予約）

「まが玉」や「昔のくらしの体験」などを行なっています。学校や子ども会の活動にご利用ください。

こんな時、ご利用下さい

●地域のサロン

館内には、なつかしい古い道具をたくさん展示しています。展示を見ながら、むかし話に花が咲きます。出前もしますよ！

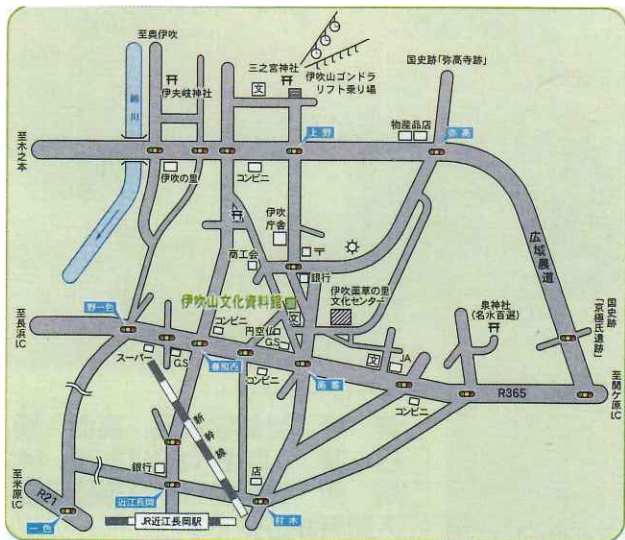
●デイサービス

古い道具を使った「回想法」にも取り組んでいます。民具の貸し出しもおこないます。

●廃校利用やボランティア活動の視察・研修

「文科省 全国廃校リニューアル50選」に滋賀県で唯一、選ばれました。市民の方による「友の会」活動も活発に行っています。

●「伊吹山登山」の事前学習にも最適！



【伊吹山文化資料館／交通案内】

JR・バス：東海道線近江長岡駅下車 湖国バス「伊吹登山口」行きで「ジョイいぶき」下車、徒歩8分
 車：名神高速米原・関ヶ原、北陸道長浜各IC から約15分